

令和4年度 言語文化シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『新編 言語文化』
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		

学期	月	編	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
		4	1 ことばと出会う 漢字と仮名の使い分け	3	【知・技】 (1)ウ (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本語の表記の特色や独自性について学習した内容をもとにして、自らの言語感覚を磨き、語彙を増やそうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5	2 表現を味わう とんかつ	3	【知・技】 (1)エ 【思・判・表】 B(1)ウ	・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		5	3 文化を見つめる 足し算の文化	3	【知・技】 (2)ア 【思・判・表】 B(1)ア	・日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえる。 ・身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6	3 文化を見つめる ほどほどのデザイン	4	【知・技】 (1)ウ 【思・判・表】 B(1)ア	・日本のデザインに見られる独特の感性について、筆者の主張を読み取る。 ・デザインをとおして、日本文化の特色について自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本のデザインについて筆者の主張を読み取ることに興味をもち、デザインをとおして日本文化の特色について自分の考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		6	1 古文に親しむ 古文への招待 いろは歌 ◆参考 いろはカルタの世界 古文冒頭選	4	【知・技】 (1)ア (2)エ 【思・判・表】 B(1)イ・ウ	・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		7	1 古文に親しむ 十二の「子」文字	5	【知・技】 (2)ア・ウ 【思・判・表】 B(1)ア	・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容を積極的に読み取ろうとしている。漢字の読みの多様性について関心を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		8・9	1 漢文に親しむ 訓読のきまり／格言／再読文字	9	【知・技】 (2)ア・ウ 【思・判・表】 B(1)オ	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		10	2 現代に生きることば 守株	2	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
		10	詩歌の調べ 春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた	5	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 A(1)イ B(1)イ	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。	【知識・技能】 ・詩歌に親しみ、理解するために必要な文語のきまりや訓読のきまり、詩歌の形式、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。〔A(1)イ〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト

令和4年度 言語文化シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	第1学年	大修館書店『新編 言語文化』
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		

学期	月	編	教科書単元名／教材名	時間	学習指導要領との対応	学習の目標	評価規準例	評価方法等
11	11	古文	2 随筆を楽しむ 徒然草 高名の木登り／公世の二位のせうとに／奥山に猫またといふもの／神無月のころ	3	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			3 物語の広がり 伊勢物語 芥川／筒井筒／あづま下り	3	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			4 旅への思い 土佐日記 門出／旅の終わり	3	【知・技】 (2)イ 【思・判・表】 B(1)イ・エ	・文章の展開や和歌の内容に注意して、登場人物の心情を読み取る。 ・作品の主題と表現の特色を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 [(2)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [B(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、文章の展開や和歌の内容、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			3 物語の広がり 平家物語 木曾の最期	3	【知・技】 (2)オ 【思・判・表】 B(1)ア・ウ	・音読して文体の特徴をとらえる。 ・登場人物の心情の変化を読み取る。	【知識・技能】 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 [(2)オ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・『平家物語』に興味をもち、音読して文体の特徴を味わったり、人物の心情の変化を読み取ったりしようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
12	12	漢文	2 現代に生きることば 借虎威	3	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・「虎の威を借る狐」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			4 物語を受け継ぐ 羅生門 ◆参考『今昔物語集』巻第二九第一八	7	【知・技】 (1)イ (2)カ 【思・判・表】 B(1)イ・ウ	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 [(1)イ] ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 [(2)カ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をととして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
2	2	漢文	3 古人に学ぶ 論語 学問のすすめ／社会に生きる	3	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)イ・オ	・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深める。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 [B(1)イ] ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 [B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文を読むことに興味をもち、『論語』と現代との関わりについて考えを深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
			2 現代に生きることば 蛇足	4	【知・技】 (2)ウ 【思・判・表】 B(1)ア・イ	・「蛇足」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 [(2)ウ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] ・「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト
3	3	漢文	4 漢文を楽しむ 完璧	3	【知・技】 (2)エ 【思・判・表】 B(1)ア	・音読を通して漢文訓読の口調に習熟する。 ・古人が示した知恵や教訓について、正確に理解する。	【知識・技能】 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 [(2)エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、その知恵や教訓を積極的に読み取ろうとしている。	・観察 ・ワークシート ・小テスト